



トランスペアレント・デジタルオーディオ・ケーブル

REFERENCE XL

110Ω AES/EBU



< RXLAES >

デジタルオーディオ・ケーブルが微細なデジタルオーディオ信号を忠実に伝送するためには、超広帯域(ハイスピード)特性、高い SN 比、低ジッターなど、厳格な物理的諸特性のすべてが不可欠です。ハイスピード性能は特にデジタル信号の矩形波のスルーレートを維持するために、S/N は信号の純度を保つために、そして低ジッター性能は信号のブレを防ぎ受け渡すデジタル機器への負担を軽減しビット精度を高めるために重要なのです。そうした特性に関わるケーブルの性能は、ケーブルを構成する線材と絶縁体などの素材と構造、工作技術の良否に係っています。

トランスペアレント・デジタルオーディオ・ケーブルは、99.999%純度のOFHCのソリッド銅線を芯線に使用し、選び抜かれた絶縁体でハイスピードを実現、二重編組とアルミ箔による徹底したシールドによって高 S/N を、そして、全長にわたって芯線の位置を正確に保つ緻密な構造と厳格な端末加工技術によって、極めて正確なインピーダンス整合を図り、低ジッターを達成。伝送精度を飛躍的に向上させています。

トランスペアレント・デジタルオーディオ・ケーブルは、芯線のグレード、絶縁体の材質と構造の違いによってランクが分かれています。特に最高グレードの"REFERENCE XL"では、表面を滑らかに研磨した、他のランクよりも一回り大きなゲージの極太 OFHC を芯線導体に採用。絶縁体には、新開発の"Advanced Expanded Foam Teflon Dielectrics"と称する超発泡テフロンを用いて、極めて空気に近い絶縁能力を持たせながら、全長に亘って導体の位置を厳格に保持する理想的な構造を実現し、AES/EBU 規格 110Ω のインピーダンス整合を極限まで追求しています。勿論、シールドは銅二重編組+アルミ箔によって徹底化を図っています。さらに XLR コネクターにはインピーダンス不整合によって端末での反射を起こさないよう、金メッキ接点のカスタムデザイン品を採用。そして、そうした高い性能を最大に発揮させるために、コネクターへのターミネーションにも熟練工による優れた工作技術による特別な配慮がなされています。特に半田付け工程では含有率 2% の銀入りハンダをプリヒートさせた芯線にすばやく融解させ余分な熱を加えない熱制御手法を導入するなど、特性管理を徹底させています。より低干渉/低ノイズ、低ジッターで伝送スピードを極めた"REFERENCE XL"。

トランスペアレントが技がひときわみを見せる最高級デジタルオーディオ・ケーブルです。



Transparent Digital Audio Cables“FAMILY”



(左から) PREMIUM 110Ω AES/EBU / REFERENCE 110Ω AES/EBU / REFERENCE XL 110Ω AES/EBU
< PRAES > < RAES > < RXLAES >